

町の家計簿

キラッと輝くまちづくり

健全な財政運営を目指して

一般会計の歳入総額は53億1,102万2千円、歳出総額は50億6,630万2千円となり、前年度と比較すると歳入で3,005万7千円の減額(0.6%)、歳出では5,394万2千円の減額(1.1%)となりました。

歳入では、固定資産税、軽自動車税の増収により町税が3,112万9千円の増額となりましたが、地方交付税が5,047万9千円の減額、国庫支出金も社会資本整備総合交付金事業の減少により1億3,434万3千円、繰越金5,974万5千円の減額となりました。

歳出では、福島・白倉地区都市再生整備事業の皆減により土木費が2億1,636万1千円の減額となったほか、教育費が8,340万5千円、民生費が4,494万7千円の減額となりました。

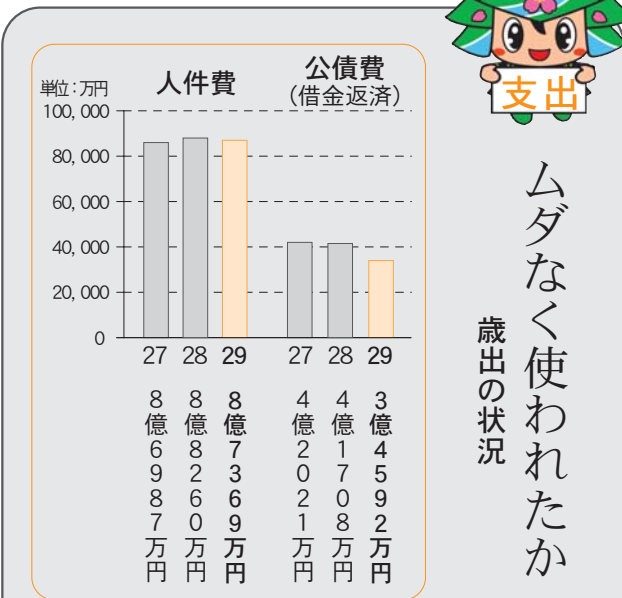
平成29年度の一般会計と特別会計の決算が、町議会9月定例会で認定されましたので概要をお知らせします。
■企画課財政係 内線243



←リニューアルオープンした多世代サポートセンター「にこにこ甘楽」。町の保健・国保・福祉・介護の窓口業務のほか、子どもから高齢者まで、多くの皆さんが利用できる多世代交流の場として活用されています。

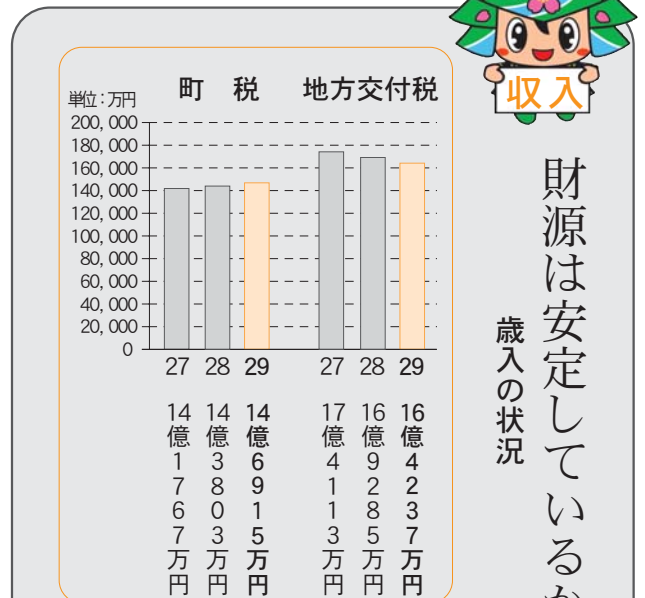


4つの視点からチェック (棒グラフは平成27年度から29年度の推移)



支出のうち義務的経費では、人件費が1.0%、扶助費が臨時福祉給付金の減額により5.8%それぞれ減少し、全体では前年比6.0%減少となりました。

投資的経費は「にこにこ甘楽」改修工事や旧一中校舎等解体工事により前年比3.6%の増加となり、歳出全体に占める割合が47.1%となりました。



個人町民税所得割が0.9%減少しましたが、固定資産税が企業誘致による減免措置が終了したことなどにより5.2%、軽自動車税も3.6%増加し、町税全体では2.2%の増加となりました。

地方交付税は、基準財政収入額にあたる法人町民税所得割など町税が増加したため3.0%の減額となりました。



→ 歩道整備が一部完了した天王・下平線(旧一中跡地前)
← 休憩用のベンチを配置した楽山園番所北の公園



一般会計決算額

歳入 53億1,102万円

歳出 50億6,630万円

●歳入 (単位:万円)

内 訳	28年度	29年度	対前年比
町 税	14億3,803	14億6,915	2.2%
使用料および手数料	1億6,160	1億5,207	▲5.9%
繰入金	8,470	7,724	▲8.8%
繰越金	2億8,058	2億2,084	▲21.3%
諸収入	1億7,660	1億4,093	▲20.2%
分担金・負担金・財産収入・寄付金	6,622	6,773	2.3%
計	22億 773	21億2,796	▲3.6%
地方交付税	16億9,285	16億4,237	▲3.0%
国庫支出金	5億7,154	4億3,720	▲23.5%
県支出金	2億9,869	3億 897	3.4%
町 債	2億 500	4億 730	98.7%
譲与税、交付金など	3億6,526	3億8,722	6.0%
計	31億3,334	31億8,306	1.6%
合 計	53億4,107	53億1,102	▲0.6%

●歳出 (単位:万円)

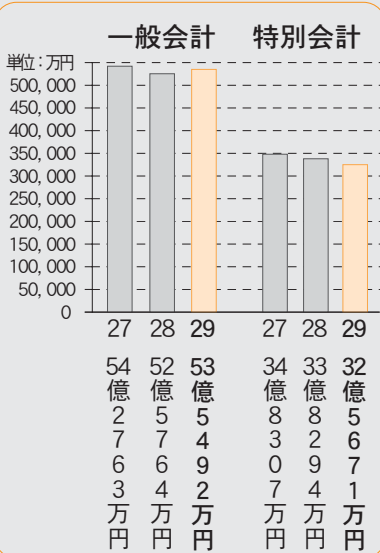
内 訳	28年度	29年度	対前年比
議会費	7,372	7,683	4.2%
総務費	8億9,459	9億6,253	7.6%
民生費	12億5,275	12億 780	▲3.6%
衛生費	3億8,153	6億6,157	73.4%
労働費	227	2	▲99.1%
農林水産業費	3億 25	3億 257	0.8%
商工費	1億3,959	1億3,386	▲4.1%
土木費	7億1,219	4億9,583	▲30.4%
消防費	2億6,765	2億8,416	6.2%
教育費	6億7,862	5億9,522	▲12.3%
災害復旧費	-	-	-
公債費	4億1,708	3億4,591	▲17.1%
合 計	51億2,024	50億6,630	▲1.1%

どーなの？

町の財布の中身



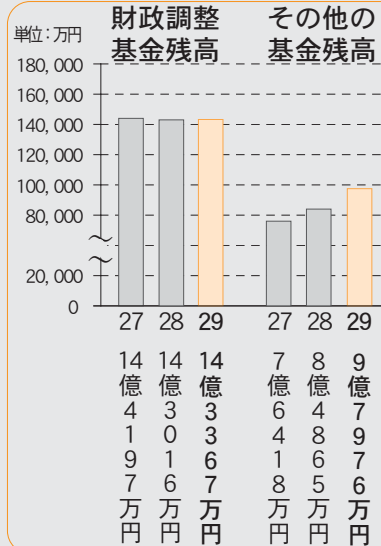
返済に努めているか
借金(町債)の残高



一般会計では、29年度に「にこにこ甘楽」改修工事で町債の借り入れを行い4億730万円の借金をした結果、元金分の返済額が3億1,002万円でしたので、残高は前年度末に比べて9,728万円増加しました。特別会計では、農業集落排水事業、公共下水道事業合わせて1億800万円の借金をしましたが、元金分の返済額を下回りましたので、残高は減少しました。今後とも後年度の負担を考慮した借入、返済に努めます。



もしもの時の蓄えは
大丈夫か 貯金(基金)の残高



29年度に基金に積立てた金額は2億1,186万円です。これは、節約してできたお金や寄付金などを貯金したものです。そのうち、一般家庭の貯金にあたる財政調整基金は、351万円増加して14億3,367万円となりました。

その他の基金残高は9億7,976万円で、基金全体では前年比5.9%増の24億1,343万円となっています。

特別会計決算額

(単位:万円)

事業名	歳入総額			歳出総額		
	28年度	29年度	対前年比	28年度	29年度	対前年比
国民健康保険	18億2,879	17億6,679	▲3.4%	17億6,458	16億9,280	▲4.1%
介護保険	10億8,835	11億1,485	2.4%	10億5,964	10億9,697	3.5%
農業集落排水	1億4,018	1億5,200	8.4%	1億3,967	1億5,150	8.5%
公共下水道	5億841	4億8,236	▲5.1%	5億789	4億8,181	▲5.1%
後期高齢者医療	1億2,666	1億3,014	2.7%	1億2,655	1億3,000	2.7%

より詳しい内容を
公開しています



役場と甘楽町図書館(ら・ら・かんら)に決算書は備えてあります。業務時間内に誰でも閲覧することができます。また、町ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.town.kanra.lg.jp/>

水道事業会計決算額

(単位:万円)

年度	収益的収支(税抜)		資本的収支(税込)	
	収入	支出	収入	支出
28年度	2億5,415	2億2,006	4,470	1億5,984
29年度	2億4,986	2億2,230	279	1億2,150

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金、積立金、消費税および地方消費税資本的収支調整額で補てんしました。



白倉地区の本新川橋に架設された配水管の水管橋

監査委員の
視点

『平成29年度
甘楽町決算審査に思う』

代表監査委員 山田利和

今年の6月の改選により茂原町長のご推挙そして議会のご同意により再任され、3期目として平成30年6月から4年間、再び代表監査委員としてお世話になることになりました。よろしくお願いいたします。

さて、平成29年度の決算審査は、8月21日から3日間実施し、所定の手続きに基づき審査した結果、各会計とも適正な事業運営がなされ、健全財政を堅持すべく努力されたことは十分認められました。

平成29年度の決算額は歳入総額53億1,102万円、歳出総額50億6,630万円で、前年度比較で歳入は3,005万円の減額(0.6%)・歳出は5,394万円の減額(1.1%)でした。町債の累計借入残高は53億5,492万円で、前年度より9,728万円増加し、厳しい状況が続いています。また、基金の残高合計額は24億1,343万円で、前年度より1億3,462

万円増加しました。

さて、近年では日本各地で、地震、台風そして集中豪雨などで大規模な災害が発生し、多くの人が被災されておりますことに、心よりお見舞いを申し上げます。わが甘楽町で災害が予測されるのは土砂災害です。町ではどのように対応しているのかご存知ですか。皆さんが日ごろ活用している町カレンダー最終3月の次ページから甘楽町避難所/土砂災害ハザードマップ(北部)(南部)が掲載されていますので、一度ご確認ください。備えあれば憂いなしです。併せて、今後皆さんの声を監査にいかしてまいりたいと思っておりますのでご意見をお聞かせください。



決算書類の審査 山田利和代表監査委員(右)
長谷川儀平監査委員(中央)